

小・中・高等学校の家庭科被服実習について（第1報）

— 教科書を中心に —

酒井清子・後藤喜恵・加藤恵子
豊田幸子・佐野愛子・近藤章子

The Practice in Dress Making in Primary School, Junior High School and Senior High School (I)

—On Textbooks—

K. SAKAI, Y. GOTŌ, K. KATŌ
S. TOYODA, A. SANO, and A. KONDŌ

はじめに

現在小学校、中学校、高等学校の被服教育における一貫性が重要とされている。そこで、被服指導の中で特に実習面についての内容を究明するの必要を考え、小・中・高等学校で使用されている教科書を中心に、著者等は小学校における技能教育、中・高等学校の技術教育の調査を行ない、大学の被服指導の適正化を計り、能率を高め、同時に内容の精選をも考慮し、魅力ある授業研究をするとともに被服構成実習指導に役立つことを目的とし、本研究を行なったので報告する。

調査方法

小・中・高等学校の昭和49年度に発行された教科書を中心に、被服実習の内容を把握し、予備的に東海地区の学校を対象に被服領域、特に実習面について担当教師に聞き取り調査を実施した。

結果および考察

I 小・中・高等学校における教科書内容について

東海地区において比較的多く使用されている教科書を対象にその内容の検討を行なった。

1. 学校別時間配当例

小・中・高等学校の時間割配当を表1に示した。小学校の家庭科は週2時間で年間70時間履修し、その内容は4領域に分けられ、被服57時間、食物45時間、すまい25時間、家庭13時間で被服領域の割合は約40%であった。

中学校の技術・家庭（女子用）では週3時間で年間105時間あり、その内容は被服、食物、住居、保育、家庭機械、家庭電気の6領域に分けられ、被服と食物は3年間通して行なわれている。被服領域の割合は約38%であった。

表1 小・中・高等学校の時間配当例

単位 時間

小学校 家庭				中学校技術・家庭					高等学校家庭一般				
領域	学年	5年	6年	計	領域	学年	1年	2年	3年	計	領域	学年	1~2
被服		33(45~50%)	24(35~40%)	57	被服		39	51	30	120	家族と家庭経営		6
食物		21(25~30%)	24(30~35%)	45	食物		33	33	33	99	生活時間と労力		4
すまい		10(15~20%)	15(20~25%)	25	住居		33	—	—	33	経済生活		10
家庭		6(5~10%)	7(5~10%)	13	保育		—	—	18	18	食生活経営		50
—		—	—	—	家庭機械		—	21	—	21	衣生活経営		32
—		—	—	—	家庭電気		—	—	24	24	住生活経営		10
—		—	—	—	—		—	—	—	—	乳幼児保育		28
計		70	70	140	計		105	105	105	315	計		140

改訂 家庭科教育法より

高等学校の家庭一般は4単位(2カ年)女子のみ必修で、年35週140時間で、その内容は家族と家庭経営、生活時間と労働、経済生活、食生活経営、衣生活経営、住生活経営、乳幼児保育の7領域に分けられ、衣生活経営の割合は約23%であった。

2. 用具・機械

用具、機械の名称を表2に示した。小学校においては製作に必要な最低の用具、機械が使用されている。中学校においては、例えばしるしつけにみられるように数種類の用具が説明され、また仕上げうま、まんじゅうなど立体構成に必要な用具が用いられ、各自選択出来るようになっている。高等学校では何も示されていない。

3. 材料の名称

次に材料の名称の表わし方について表3に示した。小学校では製作物にそくした材料名があげられ、中学校では天然繊維、化学繊維の二つに別けられ、それぞれの分野に属する材料があげられている。高等学校ではさらに細分化し、繊維別に材料名があげられ、衣生活経営の中に被服材料として一分野を成している。

糸、ボタンなどの付属品については、製作する作品ごとにあげられている。

表2 用具・機械

項目	用具	学校別	
		小学校	中学校
計る	ものさし	●	●
	まき尺	●	●
裁つ	糸切りバサミ	●	●
	裁ちバサミ		●
	ピンキングバサミ	●	●
しるしつけ	ヘラ	●	●
	チャコペンシル		●
	ルレット		●
	布用複写紙		●
縫	短ばり	●	
	長ばり	●	
	縫い針		●
	まち針	●	●
	ミシン針	●	●
	9番	●	●
	11番	●	●
14番	●	●	
う	指ぬき	●	●
	のきみ		●
	ミシン	●	
	縫製ミシン		●
	ポピン	●	●
	ポビンケース	●	●
仕上げ	ファスナー用片押え		●
	アイロン	●	●
	きりふき	●	●
	あて布	●	●
	アイロン台	●	●
仕上げ	仕上げうま		●
	まんじゅう		●
人	台		●

表 3 小・中・高等学校別材料の名称の表わし方

学校別材料	小学校		中学校		高等学校		校
	学	校	学	校	学	校	
布	もめ毛織物化学繊維	んさ物織ン	綿	麻	毛	おもな衣料用繊維分類 天然繊維 植物繊維—セルロース繊維—〔種子毛繊維…綿(もめん) 〔亜麻, ちよ麻) 〔じん皮繊維…麻(家蚕絹, 野蚕絹) 〔まゆ繊維…絹(家蚕絹, 野蚕絹) 〔獣毛繊維…毛 再生繊維—セルロース系…〔レーヨン 〔ポリノジック 〔キノアプラ 〔タンぱく質系…牛乳カゼイン繊維, とりもろこし繊維 半合成繊維—セルロース系…〔アセテート 〔トリアセテート 〔その他 合成繊維—ポリアミド繊維…ナイロン 〔ポリエステル繊維…ポリエステル 〔ポリウレタン繊維…ポリウレタン 〔ポリプロピレン繊維…ポリプロピレン 〔ポリビニルアルコール系繊維…ビニロン 〔ポリ塩化ビニル繊維…ポリ塩化ビニル 〔ポリ塩化ビニリデン系繊維…ビニリデン 〔ポリアクリルニトリル系繊維…〔アクリル 〔アクリル系 〔ガラース繊維 人造繊維(化学繊維)	
	化	学	再	合	成		織
糸	30番	カタ	20番	糸	なし	なし	
	50番	カタ	30番	糸	なし		
	60番	カタ	50番	糸	なし		
	はぶ	たえ	60番	糸	なし		
	し	つけ	し	糸	なし		
	し	ゆ	し	糸	なし		
ボタン スナップ	2つあな	ボタン	スナ	ボタン	スナ	パルトしん ファスター ボスター スナップ	
	4つあな	ボタン	ポ	ボタン	ボ		
	5つあな	ボタン	シ	ボタン	シ		
	ら	ボタン	カ	ボタン	カ		
	スナ	ボタン	カ	ボタン	カ		

4. 寸 法

表4に示すように、小学校では日常生活に役立つものとして、基礎的知識技能の習得に袋物、小物類、カバー類を製作する。採寸ははば、たけ、まわりについて学んでいる。中学校においてはブラウス、スカート、パジャマ、ワンピースの製作にあたり、パターン使用に必要な寸法箇所について学んでいる。高校ではブラウス、スカートは中学よりさらに詳しく、腰たけ、ひじたけ、乳下り、胸部角度、背部角度などの細かい部位まで計測している。

表 4: 寸 法

種類	学校別		中 学 校				高等学校
	小学校	袋物類 小物類 カバー類	ブラウス	スカート	パジャマ	ワンピース	ブラウス スカート ベスト
寸法							
よこまわり	●						
むねのまわり	●						
胸まわり		●			●	●	●
胸囲				●	●	●	●
胴まわり				●	●	●	●
腰まわり				●	●	●	●
腰囲							●
首まわり						●	●
うでまわり						●	●
手首まわり							●
てのひらまわり							●
たてまわり	●						
洋服のたけ	●						
ブラウスタけ		●					
上着たけ					●		
着たけ						●	
背たけ			●		●	●	●
袖たけ					●	●	●
スカートたけ				●		●	●
ズボンたけ					●		
また上					●		
腰たけ							●
ひじたけ							●
膝高							●
床上がり							●
乳下り							●
前下り							●
総たけ							●
はば	●						
背肩幅		●				●	●
背幅							●
肩幅							●
胸幅							●
肩傾斜							●
胸部角度							●
背部角度							●

5. 縫い方種類

縫い方種類については、表5に示した。小学校では玉むすび、玉どめ、すくい返しどめ、本返しどめ、半返しどめの〰とめ〰に関することを学ぶ。高校では裏つきの作品を製作するため

表 5 縫い方種類

縫い方	学校別	中 学 校				高 等 学 校			
	種類	小学校	ブラウス	スカート	パジャマ	ワンピース	ブラウス	スカート	ベスト
玉むすび	袋物	●							
玉どめ	小物類	●							
すくい返しどめ	カバー類	●							
本返しどめ		●							
半返しどめ		●							
なみぬい		●	●	●	●		●		
返しぬい		●	●	●	●	●			
一針返しぬい		●	●						
まつりぬい		●	●	●	●	●	●		
奥をまつる									●
かがり縫い		●		●	●				
しるしどおりにぬいはなし てもう一度ぬう 二度ぬい		●	●	●	●	●			
重ねはぎ									●
表からぬい裏返してぬう		●							
ふくろ縫い			●	●	●	●			
伏せ縫い				●					
折り伏せ縫い				●					
ちどり縫い					●				●
千鳥掛け								●	●
中とじ								●	●
星どめ								●	●
穴かがり								●	●
玉縁ボタンホール								●	●
糸ループ					●		●		
重ねぬい		●		●		●			
ミシンぬい		●	●	●	●	●	●		
かがり縫い(ジグザグ)				●	●				
かがる(ジグザグ)					●				

に、その実習として奥をまつる、中とじ、星どめなどがみられた。また、なみぬい、返しぬい、まつりぬい、ミシンぬいなどは小・中・高等学校に一貫して用いられている。

6. 小学校における製作内容

表6に示したように、5年生で袋作りと小物作り、6年生で装飾品とカバー類を製作している。日常身近に使用するものを基本的なものとしてとりあげ、授業が行なわれており、平面のものを立体型に縫うことを学び、出来上りの工程を把握し、さらにししゅうによる装飾の工夫をすることも取りあげられている。

表6 小学校における製作内容

項目	5 年				6 年			
	ふくろ作り		小物作り		そうしよく品		カバー類	
	さいほう ばこ入れ	手さげぶ くろ	台ふき	花びんしき	テーブル センター	かべかけ のれん	まくら カバー	洋服カバー
材料と用具	さいほう 用具 布, 糸, ひも		さらしも めん カタン糸 50番	綿, 化学 せんいの 布 カタン糸 50番	綿, 化学 せんいの 布 はんの材 料 せん料	綿, 化学 せんいの 布 糸, はり, ひも	布, 糸, ししゅう, 糸, さい ほう用具 ししゅう ぱり, ミ シンぬい 用具	布(綿, 化学 せんいの), 糸, さい ほう用具, ミシンぬい 用具
寸法のは かり方	たてまわ り, よこ まわり, はば						まわり, はば	まわり, たけ
布の大き さの決め 方	型紙の使 用				テーブ ルに合 わせる			型紙を作る
たち方	布を二つ に折って しるしつ けし, た つ	布をたつ	布をたつ		布をたつ			布の表を内側 にして型紙ど おりにたつ
しるしの つけ方	へら		図案どお りにしる しつけ				布の表を 中にし, 二つ折り でつける	
ぬい方	なみぬい 1. 底, わ き 2. きせを かける 3. 口明き 通し口 4. ひも通 し口	1. 底, わ きを三 つ折り 2. 口を 三つ折 り 3. ひも を作る 4. ひも つけ	1. しるし どおりに ぬい糸は しまつ	1. 配色の よい布を 置きその 上をミシ ンでぬ 2. できあ がりの形 のしを つけてぬ 3. まわり を切る	1. ふちの しまつ 2. かきぞ め, はん ぞめを する	1. ふちの しまつ 2. かきぞ め, はん ぞめを する 3. ふさつ つけ, ひ もつけ 棒つけ	1. まくら のはばを 表からぬ い裏返し てぬ 2. 両はし を三つ折 りに返し 表に返す 3. ししゅう うでかざ りをつける	1. えりかたあ きをぬ 2. えりかたあ きからす までを二 度ぬいす 3. ぬい代, き せをかけて 折る 4. すそを三 つ折りに してぬ 5. ポケッ ト, ししゅう うでかざ る
しあげ	ひもを通 し, 形を 整える				アイロ ンをは かける		裏からア イロンを かける	裏からア イロンを かける

7. 中学・高等学校における製作内容の比較

中学, 高校で共通する製作品はブラウスとスカートである. そこでこれらの作品の製作過程について中学, 高校を比較検討することにした.

1) ブラウス

図1に示すように, ブラウス製作にあたり中学ではaのように人体と胴部原型とブラウス比

較の関係をj知るために、肩さがり、ダーツなど型紙展開をしている。高校ではbのように立体的に作品をとらえ、側面からみた胸部、背部、腰部、肩傾斜およびゆるみとダーツの関係などについて学習する。

表7に示すようにデザインでは、中学は袖なしの作品である。形のくふうは中学では涼しく着るなど快適さを要求している。高校ではピンタック、ボウタイ、ヨーク、ファスナー明きなど型の変化を工夫させている。型紙の補正では中学は、胸のゆるみ、衿型、たけ、肩さがりを直す程度であったが、高校ではたけ、幅、袖ぐり、衿ぐり、肩の補正もする。本縫いで中学における縫い方順序は表に示す通りであるが、中学では袖なしでパイヤス始末をし、高校は普通袖（長袖カフスつき）で履修している点が大きな違いである。縫い方方法については別項で述べる。また高校ではポケットつけの作業が増えている。

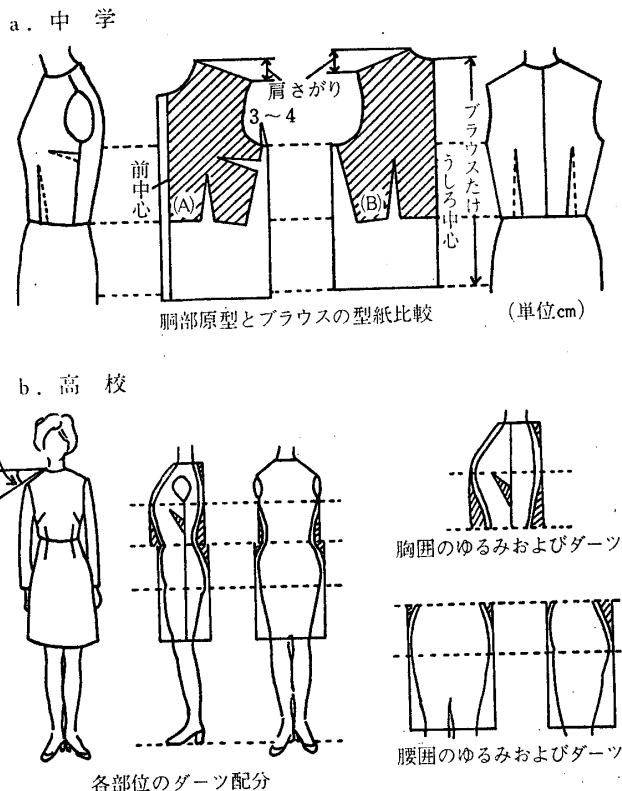


図1 体型と型紙の関係

表7 中学・高等学校における製作内容の比較（ブラウス）

製作順序	学校別	中 学 校 (1年)	高 等 学 校
1. 構 成		前身ごろ、うしろ身ごろ、そで、えり	脇、肩、ウエストダーツで構成 側面からみた胸部、背部、腰部、肩傾斜の違い
2. デ ザ イ ン		フラットカラーのアンダーブラウス	タックインブラウス、オーバーブラウス
3. 形 の く ふう		すずしく着る（袖なし、えりなし）	ピンタック、ボウ、ヨーク、ファスナー明き
4. 型紙の選び方		胸まわり寸法	基本型から着用者に合わせて伸縮する
5. 型紙の補正		胸まわり線、すそ線 自分に似合う衿型、たけを直す	丈、幅の伸縮、そでぐり、衿ぐりの調節 えり、そでの変化により個性に合わせる
6. 見 積 り 方 裁 ち 方		地直し、縫代分量の決め方 型紙の配置、しるしつけ（中表）	用布の整理（地の目を正す、収縮） 型紙の置き方（むだのない裁ち方）
7. 仮 縫		0.5cm位の針目で縫い始め、終りに返し針	本縫い順序にしたがう 縫代（ダーツ、肩、わき、片返し）
8. 補 正		胸のゆるみ、衿のおちつき、肩さがり、袖ぐり、ブラウスタけ、すそ線	肩でささえるので肩をよく合わせる、なで肩の場合、衿ぐり、屈身体、肩甲骨が張っている場合
9. 本 縫 い		縫代始末（二度ぬい、ピンキング） 1. ダーツ 2. 肩……前に片返し 3. そでぐり……パイヤスつけ 4. わき……前に片返し 5. すそ……三つ折りミシン	1. 見返し始末……端ミシン 2. ダーツ 3. ポケット……力布つける 4. 肩合わせ……布に応じた始末 5. えりつくり……0.2cm 控える 6. えりつけ……パイヤスつけ

	6. えり……0.1cm 控える 7. えりつけ……バイヤスつけ	7. わきぬい……肩と同じ 8. すそしまつ……三つ折り, ミシン又はまつり 9. そで及びそでつけ イ. そで下ぬい ロ. そで口……カフスつき ハ. そで山いせこみ ニ. そでつけ……二度ぬい, かがり
10. 仕 上 げ	1. アイロン…裏からキリを吹き糸くず, しつけをとる 2. ボタン, スナップつけ 3. たたみ方	

2) スカート

表8に製作内容を比較して示したが、デザインでは中学で下半身の動作について歩行による裾幅の変化を学び、基本型のセミタイトスカートを応用デザインしている。高校では、セミタイトスカートの基本型から、ボックスプリーツスカート、フレアスカートなど多種類にわた

表8 中学・高等学校における製作内容の比較(スカート)

製作順序	学校別	中 学 校 (1年)	高 等 学 校
1. 構 成		前布, 後ろ布, ベルト	胸囲ゆるみ4, 胴囲1, 腰囲-胴囲=ダーツ
2. デ ザ イン		セミタイトスカートの応用	セミタイトスカートの応用, フレアスカート
3. 形 の く ふ う		すわる, 歩く, 腰かける, 動作のゆとり	組合せ服の土台, 日常生活にさしつかえないゆとり, すそ幅
4. 型紙の選び方		腰まわり寸法	腰囲寸法
5. 型紙の補正		胴まわり……ダーツ, 脇 たけ……すそ	幅, たけの伸縮
6. 見 積 り 方 裁 ち 方		縫代のつけ方, 90cm幅の裁ち方(中表) 布目の方向(裏なし)	布地幅別裁ち方, 裏地裁ち方
7. 仮 縫 い		1. ダーツ 2. わき縫い 3. ベルト 芯合標 4. ベルト芯つける 5. すそを折り縫う	1. ダーツ 2. わき縫い 3. ウエストにいせこみ 4. ベルト布をつける 5. すそを縫う
8. 補 正		1. まわり…胴, 腰 2. ダーツの位置, 長さ 3. わき線 4. スカートのたけ 5. すそ線	腰の体型に合わせる 1. わき線曲る場合 2. 前後わきにたなじわ出る場合
9. 本 縫 い		縫代始末…かがりぬい(手, ミシン) はしミシン, はしを折ってミシン 1. ダーツ…中央に折る 2. わき…縫代割る 3. ファスナー付け 4. ベルトつけ…あいじるし, 中に芯入れる 5. すそ…曲線部分で浅くつまみまつる	1. ダーツ……イ. 中央に折る ロ. 縫代割る ハ. 切り込み割る 2. わき……表 縫代割る 裏 0.3cm 外縫い片返し 3. ファスナー付け 4. 中とじ……ファスナー周囲まつる 5. ベルトつけ…イ. ① ウエストいせ込み ② ベルトつけ ロ. インサイドベルト仕立 6. すそ……① 床上りを計る ② イ. 端ミシンまつる ロ. ヘムテープつけまつる ③ 裏布は三つ折りミシン縫い ④ 糸ループ
10. 仕 上 げ		1. しつけ糸をとる 2. 裏からアイロンかける 3. カギホックをつける	

っている。形のくふうとして中学では簡単なひだの入れ方、切替線の活用などで、高校では、ダーツをたたみヨークを作る、フレアスカートに展開する方法などがあげられている。補正については、中学で胴まわり、腰まわり寸法のゆるみ、ダーツの位置・長さについて調べる。高校では、腰の体型に合わせて補正し、腰の丸味や腹部の出っ張りなどを考慮している。本縫いは中学、高校共に同じであるが、始末の仕方については、高校は裏付きで履修するために、それらにともなう素材の違いによる技術が多種類になっている。

8. 中学校における製作内容

1) パジャマ

表9にパジャマ、ワンピースについて示した。形のくふうとして、ゆるやかでぬぎ着が便利であること、日常着のブラウスと休養着との比較を学習している。型紙の選び方は、参考寸法

表9 中学校における製作内容

製作順序	服種	パジャマ (2年)	ワンピース (3年)
1. 構成		上衣……前身ごろ, うしろ身ごろ, そでズボン…前ズボン, うしろズボン	前・うしろ身ごろ, 前・うしろスカート, そで, えり
2. デザイン		1. フリルつき, 短そで, 短ズボン 2. えりなし, ヨークつき, 長ズボン 3. ショールカラー, ラグラン袖	1. えりなし, そでつき 2. フリルつき, そでなし 3. えりなし, そでつき, ローウエスト 4. スポーツカラー, そでつき, 胴はぎあり 5. えりなし, 長そで, 胸に切り替え
3. 形のくふう		ゆるやかで休養に適し, ぬぎ着に便利, 季節でくふう, 年齢, このみの形	季節, 着る人の体形や年齢, このみ, 布地にあった形のくずれにくいもの
4. 型紙の選び方		上衣……胸まわり寸法 ズボン…腰まわり寸法	胸まわり
5. 型紙の補正		上衣たけ…すそ線, そでたけ…そで口線 えりぐり…このみの形, 胸まわり…補正寸法 $\frac{1}{4}$ 腰まわり…補正寸法 $\frac{1}{2}$ そでたけ, ズボンたけ…着用季節, このみで直す, また上とまた下で補正	たけが長い場合……余分の寸法をとる 胴まわりが広い場合…余分の寸法の $\frac{1}{4}$ とる 背肩幅がせまい場合…不足寸法の $\frac{1}{2}$ だす
6. 見積り方 裁ち方		布幅 (72,90cm) 布地に適した寸法をつける 能率的で布にむだの少ない裁ち方	布幅 (90cm) 地質や部位によって縫い代寸法はちがう 能率的な裁ち方, 布目の方向, あいじるし
7. 仮縫い		上衣, ズボンの縫い方順序にしたがう	本縫い順序にしたがう
8. 補正		上衣とズボンは全体の調和 まわり (胸, 腰) ゆるみ 上衣たけ, そでたけ, そで口などの寸法 えりぐりの形, ポケットの大きさ, 位置, ズボンたけ, また上の寸法, ズボンの太さ, すそ口の寸法	動作をしてみて, きゅうくつなところはな いか, ぬぎ着しやすいか 全体の調和, まわり (胸, 胴, 腰) について えりぐりの大きさと形, そでの形, そでつ けの位置, 肩, 脇線の位置, 着たけ, すそ 幅, すそが水平かみる
9. 本縫い		縫いしろしまつ…ふくろ縫い, 伏せ縫い, 折り伏せ縫い, 二度縫い, ジグザグミシ ンでふちかがり I. 身ごろ… 1. ダーツ 2. ポケット作り 3. ポケットつけ 4. えりぐり見返し布作り 5. 肩割る II. そで…… 1. 3.のえりぐり作り 2. 身ごろ, そで山を縫う 3. そで下, 脇をつづけて縫う 4. そで口を三つ折り	縫いしろしまつ…はしミシン ジグザグミシン I. 身ごろ… 1. ダーツ=肩, 胴…中央, わき…上 2. うしろ中心=縫いしろわ る 3. 背あき=ファスナーつけ スカートと同じ, コンシ ールファスナーつけ…図 参照 4. 肩あわせ=縫いしろわる えりぐり=見返し布をつ ける

	III. すそ……ブラウスと同じ IV. 穴かがり…手縫いの穴かがり, 又はジグザグミシン V. ズボン… <ol style="list-style-type: none"> 1. 左右のまた下縫い 2. うしろまた上の伸ばしとミシン縫い 3. 胴まわりの縫い方とゴム通し 4. すその縫い方 	II. そで…… <ol style="list-style-type: none"> 1. わき=肩と同じ 2. そで下=縫いしろわる 3. そで口=はしミシンをかけてまつり縫い 4. そでつけ=二度縫い, たち目かがり III. すそしまつ…はしミシンでまつり縫い
10. 仕 上 げ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しく縫えているかみる 2. 糸くずをとり, アイロン仕上げ 3. 左身ごろの前中心線にボタンつけ ズボンの胴まわりにゴムテープを通す 4. たたむ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 糸くず, しつけをとる 2. アイロン仕上げをする 3. そでつけ, 肩の部分は小形仕上げうま使用 4. 胸のふくらみは仕上げまんじゅう 5. スカートの仕上げうま 6. そで山にアイロンの折り目つけない 7. えりぐりの後ろ中心にカギホックつけ

表をもとにして, 上着は胸まわり, ズボンは腰まわりを基準にして選ぶ. 体型に合わない場合は, 上着だけ・袖だけはたけで, 胸まわりとズボンだけはパターン中央に伸縮線を入れて直す. また着用する季節や好み, 布地の関係, デザインなども考慮し補正する. 休養着の素材として, 丈夫さ, 吸湿性・吸水性などの衛生面, また色, 柄についても述べ重要視している. 本縫いは, 縫い代始末として表に示したような方法でブラウスとは違って, 丈夫でほつれにくい方法をとっている. 本縫いでブラウスと異なる点は, 衿なしの場合の見返しのつけ方, 袖つけ, ズボンの股上の伸ばし方, 縫い方, 穴かがりの手縫い, ミシンかがりなど布の伸縮や細かい技術があげられている.

2) ワンピース

表9に示したように, 構成では上・下つづいたもの, 胴にはぎのあるもの, 季節によって袖や衿を省くもの, ベルトつきのものなど5種類のデザインによって説明し, 着用の目的, 季節, 着用者の体型や好みを考え, ししゅう, レース, フリルを扱い装飾的に工夫し, 外出着としての目的を加味している. ここでダーツの必要性, 意味などを理解させ, 胸, 腰や腕まわりのゆるみ寸法などについても説明をしている. 補正では胴, 腰, 着たけ, 背肩幅, 袖たけを自分の寸法に合わせて補正する. また, 衿型, 切替えなど季節や好みに合わせてデザインを変化させ, 部分的に直し個性を生かすようになっている. 明き始末はコンシールファスナーの付け方も学ぶ. その他応用作品としては, プリンセスラインのくせとり, 胴はぎの始末, ベルト作りなどがあげられている. 仕上げでは立体的な仕上げをするために仕上げうまやまんじゅうを用いている.

9. 各部位別縫い方比較

各細目のおもな部分縫いをとりあげ, 中学, 高校の比較, および重要な部分について述べる.

1) ダーツの縫い方

中学におけるスカートの縫い方の中で, 図2のaのようにダーツの縫い方説明が詳しくされ, 高校ではbのように材料の違いや裏つきの場合の始末方法が

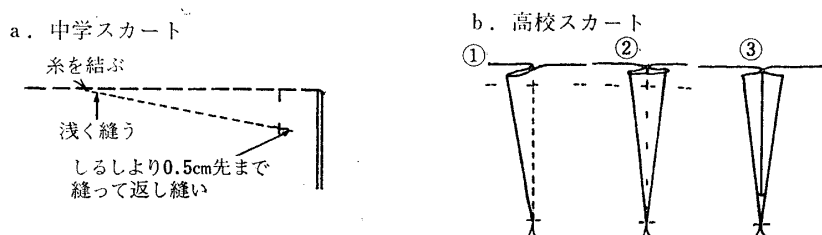


図2. ダーツの縫い方

説明されている。

2) 明きの始末

図3に示すように、中学ではスカートの脇ファスナー付け、ワンピースの背明きファスナー付け、衿なしの場合の明き始末などがある。高校においては、スカートの脇明き、ブラウスの打合い裾始末の2種がある。脇ファスナー付けは、中学で図3のaに示すように①から④の工程を、高校ではcに示すように①でしつけをかけ、前後スカートを固定させ、仕上がりですっきりさせる方法である。その他の明きは図に示す通りである。

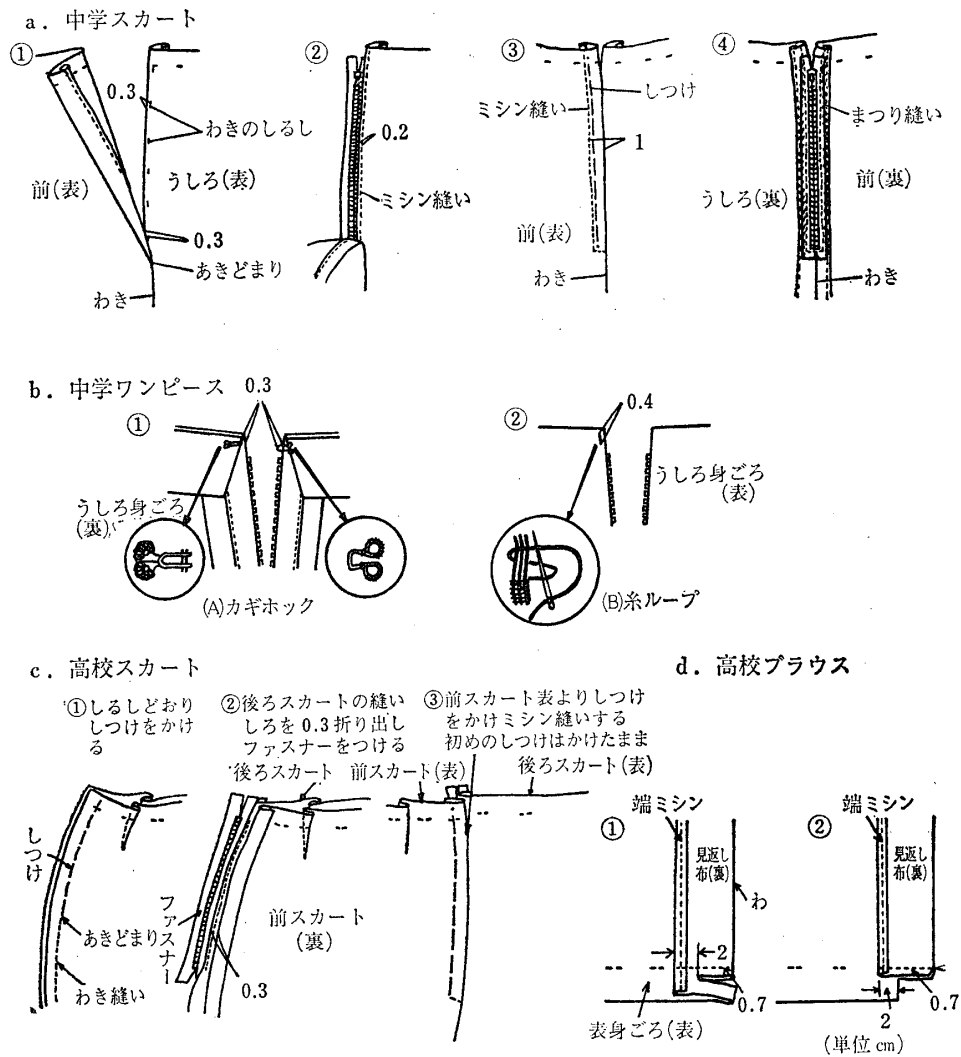


図3 明きの始末

3) 衿つけおよび衿ぐり始末

図4に示すように、中学ではショールカラー付けと衿なしの見返し始末、高校ではショールカラー付けがある。ショールカラー付けの方法は中学、高校いずれも同様で、身頃と衿の縫い代をバイヤスでくるんで付ける方法である。衿ぐり見返し付けは、前明きと後ろ明きの場合を図4のb, cのように説明している。

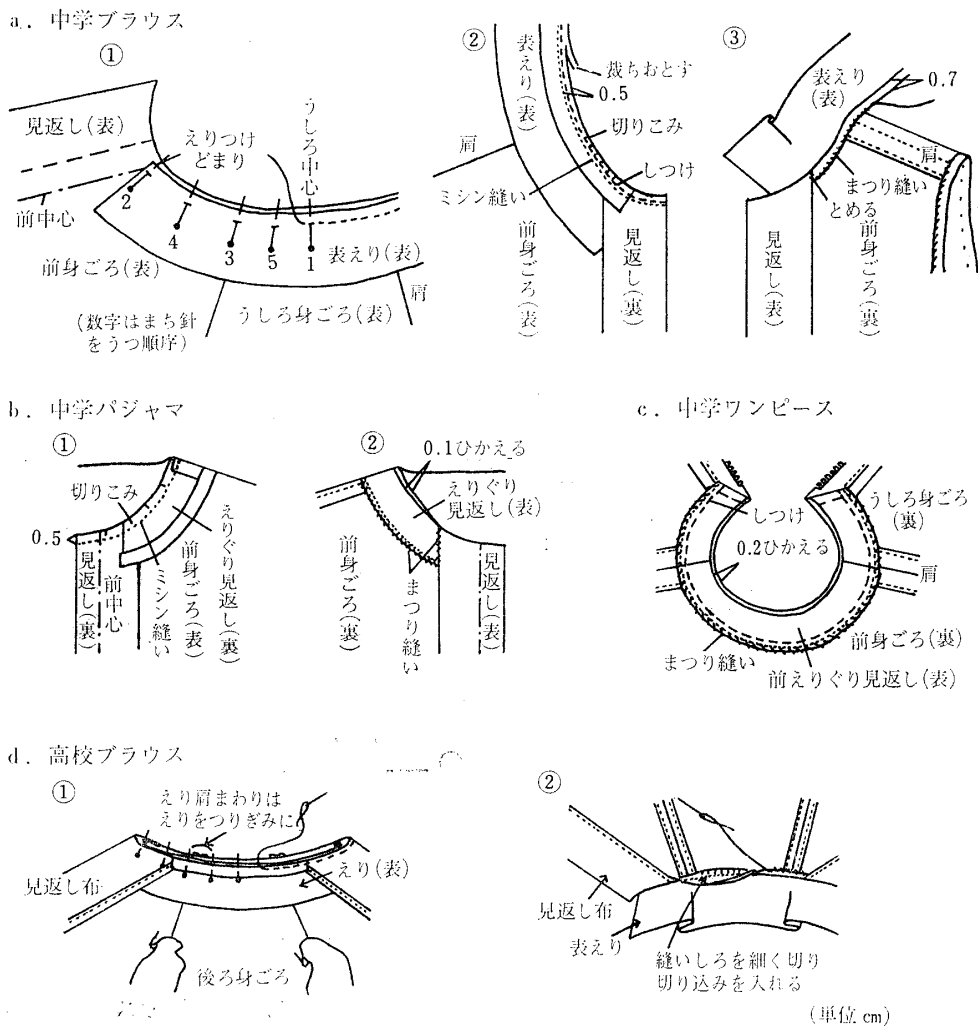


図4 衿つけおよび衿ぐり始末

4) 袖つけおよび袖ぐり始末

中学ではブラウスの袖ぐり始末として、バイヤスを見返しにする方法と玉縁にする方法の2種類で、図5のaのように説明している。①のようにはじめに肩を縫い、バイヤスを付け、②のように脇を縫う方法で、これは初歩の者に対してバイヤスを付けやすくするために工夫されているものと思われる。パジャマでは、b①のように袖山を合わせて縫い、袖下と脇をつづけて縫う方法である。ワンピースでは普通袖で袖山に細かくぐし縫いし、いせ込み、合いじるしを合わせて二度縫いにして縫い代をかがる方法で、服種別に3種類の方法を段階別に履修している。高校では、中学の普通袖同様の付け方である。袖山のいせ込みを消さないように説明され、dのように図示されているが、袖つけは技術的に困難であり、袖つけの良し悪しによって着心地を左右するので、やや説明不足ではないと思われる。

以上のように、中学、高校における被服実習の作品内容について考察したが、中学では4種類の作品を通じて、1・2・3年の段階をふんで多種類の技術を学習し、日常生活に関連させ、衣服の構成から着装までを学んでいる。高校では、家庭一般4単位の中で、ブラウスとスカートを履修し、中学の技術に比べやや高度な箇所も見出されるが、技術の範囲を見れば高校は

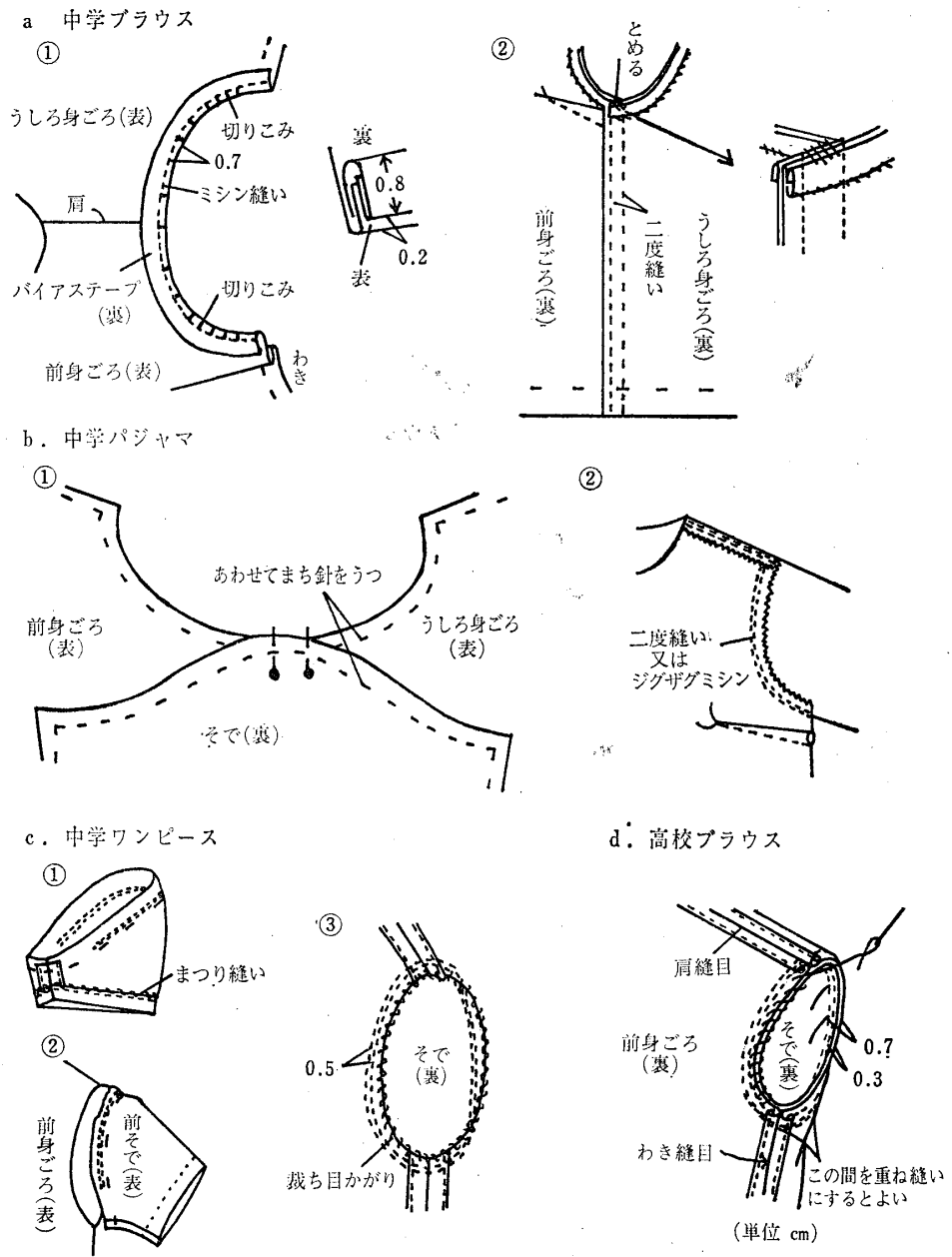


図5 袖つけ及び袖ぐり始末

中学に比べ、はるかに減少しているように推察される。

II 聞き取り調査

小・中・高等学校の各担当教師から聞き取り調査を行ない、その中からおもなものを述べると、

- 1) ミシンの一台当りの使用人数は、小学校で3~5人、中学、高校では2~3人であり、ミシンの種類は電動、および足踏みの割合も各学校により差があった。その他高校ではペビローック、O・H・P、スライド、カセットテープなどが使用されている。

2) 製作する作品、およびそれらの所要時間と家庭作業時間は、小学校の袋物、カバー類はそれぞれ6～10時間位で家庭作業はごくわずかである。中学では、スカート14時間位、ブラウス約35時間で手作業部分を家庭で行なっている。しかし、1年次においてミシン縫いの練習に時間がかかり、作品はどちらか一点になっているところもあり、またブラウスをかっぽう着に変えている学校もあった。高校では、スカート製作がほとんどで、時間数は20～22時間位で、家庭作業は学校により差がみられる。

ま と め

以上、教科書より考察した結果と聞き取り調査から、次の結論を得た。

- 1) 小学校において袋物、カバー類の製作により、形を作るための寸法、はば・たけ・まわり・ゆとり等が説明されている。
- 2) 中学校、高等学校においてスカート、ブラウスの比較は応用デザイン・体型観察・型紙展開などに大きな差がみられた。
- 3) 縫製方法において、高等学校は裏つき製作のためにスカートにおいて縫い方技術が増えている。
- 4) 中学校では、縫製方法は多種類にわたっているが、高等学校においては限られた方法のために技術的、時間的にも減少している点がみられた。

以上のことから、中学校において多種類の技術をどの程度理解し、消化されているか、また高等学校における時間の不足、および履修内容の狭さなど疑問点があげられる。

大学の被服実習は小・中・高等学校のくり返しや基礎的技術に時間を費すことは困難な点もあり、今後これらを考慮し、応用発展する能力を養い、適正な指導を行なうと共に内容の精選をすることが重要な課題であると思う。

本研究を行なうに当り、聞き取り調査に御協力いただいた東海地区の小・中・高等学校の家庭科担当教師、並びに御助言いただいた岐阜大学教授中野刀子先生に深く感謝の意を表します。

参 考 文 献

- 1) 武田一郎, 小学校家庭科5・6年, 開隆堂(1974)
- 2) 全国職業教育協会, 技術・家庭(女子用)1・2・3, 開隆堂(1974)
- 3) 小池五郎他, 家庭一般, 教育図書(1975)
- 4) 文部省, 小学校学習指導要領, 大蔵省印刷局(1975)
- 5) 文部省, 中学校学習指導要領, 大蔵省印刷局(1975)
- 6) 文部省, 高等学校学習指導要領, 大蔵省印刷局(1974)
- 7) 文部省, 中学校指導書技術・家庭編, 開隆堂(1970)
- 8) 山本キク他, 家庭科教育法, 家政教育社(1975)
- 9) 文部省, 被服に関する学習指導, 東洋館出版社(1971)